

令和2年度

健康づくり活動に関する知事褒賞

取組事例集

仲間と一緒に、健康寿命を延ばそう！



©静岡県
生きがいと健康づくり
イメージキャラクター
「ちゃっぴー」

令和3年3月
静岡県健康福祉部健康増進課

はじめに

「健康づくり活動に関する知事褒賞」は、「ふじのくに健康長寿プロジェクト」の柱の1つとして、健康づくりに積極的に取り組む企業を増やし、働き盛り世代の健康増進を図ることを目的に実施しており、本年度で9回目を迎えました。

従業員の健康づくりは、医療費の削減だけでなく、企業の生産性の向上や人員の確保を含めたブランド力の構築にもつながることから、「健康経営※」として注目されています。

今回の受賞企業は、従業員やその家族、地域住民等に向けて積極的に健康づくり活動を展開しており、その創意工夫と御努力に深く敬意を表します。

本事例集では、本年度の受賞企業10社の取組を紹介しています。多くの皆様に優良事例を御覧いただき、企業における健康づくり活動の参考にしていただければ幸いです。

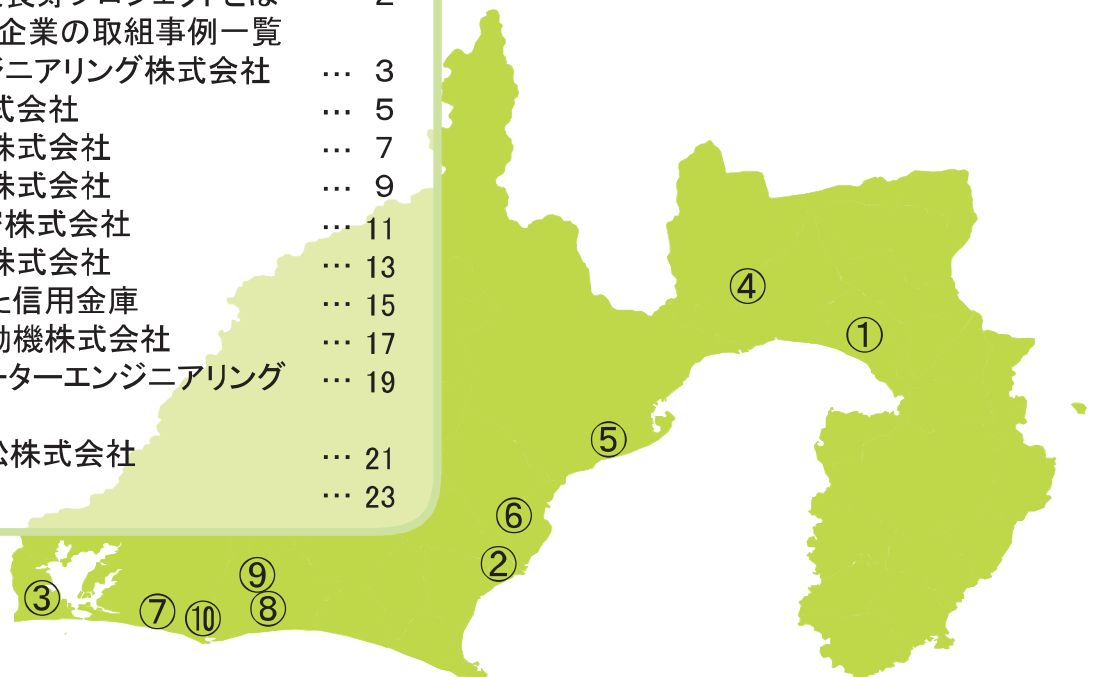
※『健康経営』は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

令和3年3月

静岡県健康福祉部健康増進課長

目次

健康づくり活動に関する知事褒賞とは	...	1
ふじのくに健康長寿プロジェクトとは	...	2
本年度の受賞企業の取組事例一覧		
①赤武エンジニアリング株式会社	...	3
②貫工業株式会社	...	5
③協和工業株式会社	...	7
④静岡部品株式会社	...	9
⑤スター精密株式会社	...	11
⑥藤和乾物株式会社	...	13
⑦浜松いわた信用金庫	...	15
⑧ヤマハ発動機株式会社	...	17
⑨ヤマハモーターエンジニアリング株式会社	...	19
⑩ローム浜松株式会社	...	21
過去の受賞者	...	23



健康づくり活動に関する知事褒賞とは

「健康づくり活動に関する知事褒賞」とは、働き盛り世代である従業員やその家族、地域住民等の健康増進、生活習慣病予防等のため、健康づくり活動に積極的に取り組み、今後もその活動が期待できる企業等を表彰する制度です。

受賞者は、学識経験者や産業医、経済団体役員などを含む、選考委員会による選考を経て決定しています。

令和2年度健康づくり活動に関する知事褒賞実施概要

実施期間	応募期間：令和2年7月1日～9月11日 選考委員会：令和2年10月23日 ※褒状授与式は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。
応募対象	健康増進に関する活動に積極的に取り組み、今後もその活動が期待でき、他の模範と認められる企業等

選考基準

- 1 従業員の特定健診等の健康診断の促進や健康増進のための必要な対策が講じられていること。
- 2 健康増進法に基づく受動喫煙防止対策の必要な措置が講じられていること。
- 3 従業員又はその家族、並びに地域住民等を対象とした健康づくりに関する活動が最低3年以上継続しているとともに実績と結果がすばらしいこと。

(活動例)

運動習慣の促進(スポーツクラブや同好会の設置、スポーツ大会や健康体操等の実施、健康づくり機器の整備等)、栄養・食生活面の支援(社員食堂での栄養成分表示、ヘルシーメニューの提供等)、心の健康に対する対策(各種研修の実施、相談体制の整備等)、歯科保健対策、禁煙支援、ふじ33プログラムの実施、地域住民等の健康増進を目的とした社会貢献活動等

推薦団体

全国健康保険協会静岡支部	健康保険組合連合会静岡連合会
一般社団法人静岡県商工会議所連合会	静岡県商工会連合会
しずおか健康いきいきフォーラム21	※応募は自薦・他薦を問いません。

ふじのくに健康長寿プロジェクトとは

高齢化が急速に進行する中、本県では県民の健康寿命の延伸を目指して、①健康長寿プログラムの普及、②健康マイレージ事業、③企業との連携、④健康長寿の研究、⑤重症化予防対策の5本柱による「ふじのくに健康長寿プロジェクト」を推進しています。

平成29年度から令和元年度までは、健康経営に着目し「しずおか“まるごと”健康経営プロジェクト」を実施し、また、令和2年度からは、民間との協働による「働く人等の運動習慣の改善及び食生活の改善」を実施しています。

ふじのくに健康づくり推進事業所宣言

企業・事業所が抱える健康課題を把握していただき、その課題解決のための取組を宣言します。県は宣言をした企業・事業所を、「ふじのくに健康づくり推進事業所」として認定し、ホームページでの公表やアドバイザー派遣を通して各種支援を実施し、健康づくりを推進します。



健康マイレージ事業

目標を達成するごとにポイントを獲得し、一定のポイントを獲得した人には「ふじのくに健康いきいきカード」が発行され、協力店でサービスが受けられます。



しずおか健幸惣菜の普及

「しずおか健幸惣菜」とは、主食と組み合わせることで、栄養バランスのとれた食事につながる『おかず』のことです。働き盛り世代の食環境を支援するため、しずおか健幸惣菜の基準を満たしたメニューがスーパーマーケットや社員食堂等で提供されるよう普及を図っています。



健康長寿プログラムの普及

運動習慣や食生活の改善に加え、積極的な社会参加をメニューに取り入れたふじ33プログラムの普及や本県に多い脳血管疾患の予防に向け、生活習慣改善を促進する減塩55プログラムの普及を行います。



ふじ33プログラム実践教室

製造業(粉体ハンドリング機器設計・製作・販売)

赤武エンジニアリング株式会社

【健康宣言】

血糖リスク保有率と脂質リスク保有率を下げる。

【健康づくりを始めたきっかけ】

健康診断の結果、有所見者の割合が地域平均よりも多かったため、安全衛生委員会の中で「平均より下回るようにしたい」との意見がきっかけになっています。

【健康経営①】

健康診断とフォローアップの徹底

健康診断は人間ドックを社員の自己負担費用がないように配慮し、受診率は100%です。

また、有所見者は特定保健指導を受けることも可能なうえ、社内でも衛生管理者や産業医との面談を行い、受診を促しています。

健康診断の2か月ほど前には、前年の有所見者へ生活習慣を改善するように「レター」を発行し、意識を高めるようにしています。

今後もやり方を改善しながら、「健康宣言」を達成出来るように努力していきます。



【健康経営②】

体力測定・健康測定の実施

体力測定は、自身の体力の変化を把握するため、毎年1回6年間、しゃがみとび、片足立ち、立位体前屈など計6種目の測定を、実施してきました。もちろん全種目強制ではありませんでしたが、それでも体力的な負荷は大きく、体を痛める恐れもあり、変更を要望する声が上がりました。そこで2年前から、体力的な負荷の無い、健康測定に切り替えました。沼津市の事業を利用し、体組成・骨健康度・肺年齢測定を行い、カロリークイズやメタボ予防の講話も受けています。今後も毎年継続し、自身の体の変化の把握と、健康意識・知識の向上を図ります。



知事褒賞を受賞して

人は誰でも健康でありたいと願っています。願っていても健康維持の行動を起こす人は意外と少ないように思われます。今回の受賞は、社員が自発的に始めた「健康づくり活動」を評価していただきました。今後の活動推進に大きな励みとなります。ありがとうございました。感謝！



代表取締役 赤堀 肇紀

【健康経営③】

従業員と家族も参加できる ウォーキングイベントの開催

3か月に1度、安全衛生委員会が主催し、有志社員及びその家族を対象に、ウォーキング会を行っています。休日の午前中の2時間で、10km程度を休みながら歩いています。子供も参加してくれるため、途中でクイズを実施し、楽しんでもらえるような工夫もしています。

コロナウイルス発生後は中断していますが、これまでに4回実施しています。

課題は、現状参加者は健康リスクの低い社員ばかりで、リスクの高い社員にどうやって自主的に参加してもらうか、です。



【会社概要】

当社は、粉粒体の貯蔵・供給・製作販売をしています。独自開発による様々な製品群とヨーロッパ諸国より輸入販売している製品とを組合せ、各種業界別に最適な粉体ハンドリング環境を提供します。

ISO9001とISO14001の認証も2000年と2003年に取得し、更にお客様に満足される品質を提供していきます。



所在地：沼津市東椎路632

電話：055-925-6666

設立：1971年9月

常時雇用者数：83人

【健康宣言】**「健診後の要受診者等への受診勧奨とフォロー100%実施」****「歯科検診受診率50%以上」****【健康づくりを始めたきっかけ】**

労使共に心身の健康保持増進を掲げた健康経営を宣言し、個々の健康課題や健康目標を明確にして、健康目標達成のために取り組むことができる健康経営文化を労使で創りあげたいと思ったのが始まりです。

【健康経営①】**健康セミナーの開催**

毎年9～11月を健康経営強化月間とし、各月1回インストラクターや講師の先生をお招きして健康セミナーを開催しています。

コロナ禍の本年は『免疫力を高める』をテーマとし、セミナーを開催しました。また本年のセミナーは参加型による実体験をすることでより参加者が健康に対する知識・スキルを吸収し易い環境づくりを心掛けました。

**【健康経営②】****従業員と家族も参加できる****レクリエーションを開催**

従業員の家族も一緒に参加できるレクリエーションとして「軽スポーツ大会」「ボウリング大会」などを年2回開催しています。従業員だけではなく、その家族も一緒にコミュニケーションが取れる場となっているため、毎回多くの家族が参加する人気行事の1つとなっています。普段仕事では見ることの出来ない上司や同僚の「お父さん・お母さん」の顔が見られ、上司・部下の垣根を取り払った熱い戦いが毎回繰り広げられています。



知事褒賞を受賞して

この度は、「県知事褒賞」をいただき、誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス感染拡大以降、就業形態の変化への対応や余暇活動の自粛などによる社員のストレス増を懸念しております。この対策の1つとしても、引き続き活動に取り組み、健康に働ける会社を目指したいと考えております。



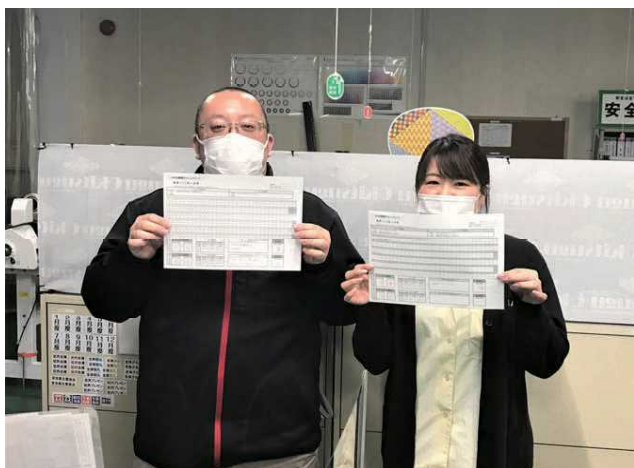
代表者取締役社長 宮崎 晴行

【健康経営③】

KAN健康チャレンジシートの実施

従業員一人ひとりが健康目標を立て、それに向かってチャレンジする『KAN健康チャレンジ』を実施しています。これは自らに課した目標をチャレンジシートに記入し、個人ごとに実践するという活動です。四半期ごとに設定した目標への達成状況を振り返り、次の四半期目標を計画します。会社では継続的に取り組まれる従業員には、「特保飲料水」をプレゼントし、モチベーションアップに努めています。

更に目標はハードルが高いと挫折する可能性があるため無理のない目標を立てるようにアドバイスも行っています。



【会社概要】

弊社は、創業から40年を迎えた、自動車部品や生活環境機器で社会に貢献する矢崎グループの子会社です。印刷業をメインに事業経営を営み、「お客様の想い」を印刷物というカタチにするモノづくりで「社会から必要とされる企業」であり続けたいと考えております。



所在地：牧之原市細江6165番地1

電話：0548-22-5223

設立：1980年3月

常時雇用者数：43人



製造業(自動車部品)

協和工業株式会社

【健康宣言】

不健康生活へのプレッシャーづくり

- 二次健診の受診勧奨、および二次健診後の医師からの指導内容の確認とフォロー
- 社員の健康増進に向けた全社活動の推進 …毎朝ラジオ体操、全社運動会など

【健康づくりを始めたきっかけ】

充実した人生を送る為には、不安のない心身の健康状態が不可欠。その実現には計画的、継続的な取組が大切。これは経営に通じるところがあるという考えの下、健康経営に取り組んでいます。(2020年健康経営優良法人 認定)

【健康経営①】

健康診断を健康維持につなげる工夫 :要再検査者への受診徹底

健康診断の目的である「生活習慣を改善し病気を予防」「病気を早期発見し早期治療につなげる」ことに向き合い、定期健康診断結果の有効活用に努めています。

- ①二次健診が必要な社員へ受診勧奨
- ②二次健診を受診しやすい様、上司は課員の業務調整を行い
- ③総務課と上司にて受診完了までフォローを行います。

一人ひとりの健康状態を総務課と上司が把握し生活習慣の改善フォローに取り組んでいます。



【健康経営②】

「スクラムトライ」を目指しワンフロア化 :メンタルヘルス対策を推進

ストレスチェックの結果を分析し、ストレス値の改善に着手。中でも大切にしている項目が「上司・同僚支援」の数値です。私たちが掲げる credo:「スクラムトライ」の実現のために、この数値の向上が重要だと考えて取り組んでいます。

2020年には、複数箇所に別れていた事務所を統合しワンフロアで共に働く環境を整備。同じフロアで働くことで部門の垣根を越えた組織コミュニケーションや業務連携が飛躍的に向上したと実感しています。働きやすい環境づくりを目指しソフト・ハード両面から対策に取り組んでいます。



知事褒賞を受賞して

この度は、栄誉ある知事褒賞を賜り、誠にありがとうございます。弊社は自動車部品製造業ですので、まずは社員が安心安全に働ける職場づくりに力を注いで参りました。新卒採用からの生え抜きが多く、社員個々の成長がわかるとともに、日ごろの健康状態までが手に取るようにわかります。社員の健康はそのまま会社の業績に直結するものであり、社員とその家族の幸せを最優先に考え、おせっかいな健康管理を心掛けております。これからも常に“計画的”“継続的”を念頭において、健康経営を推し進めてまいります。ありがとうございました。



代表取締役社長 菅沼 寿治

【健康経営③】

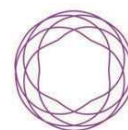
社員が企画する 「家族も参加できる運動会」を開催

運動機会の増進や親睦を深めることを狙いとして、毎年、家族参加型の全社運動会を開催しています。社員で運営する親睦会の代表メンバーが、年齢性別問わず楽しめる様に、屋外、屋内さまざまな競技種目を企画。運動会を通じて、「日頃の運動不足に気づき、健康に気を配るきっかけになった」「普段あまり話をしたことのなかった社員同士の交流の機会になった」という声につながっています。また、当日は、小さな子供を含めた家族も一緒に楽しめるイベントも用意し、家族と一緒にはしゃぎ、笑い、汗をかいて親睦を深めています。



【会社概要】

創業60年を迎える自動車用部品、プレス用金型を製造するプレスメーカー。軽量化が求められる次世代自動車に貢献する超ハイテン材加工技術を強みとし、国内カーメーカー全てに納入する独立系企業。技術力で存在意義を発揮できる「国内市場」に特化した事業を展開し、2020年には地域未来牽引企業の認定を受ける。海外進出を行わず、国内だけで勝ち残る方針は、社員の働きやすさ、家族の安心を守っていく意志を示しています。



地域未来牽引企業

所在地：湖西市吉美3400

電話：053-579-0931

設立：1964年4月

常時雇用者数：125人



製造業(自動車部品)

静岡部品株式会社

【健康宣言】

社員の健診受診率100%を維持、社員同士のコミュニケーションを積極的に推進

【健康づくりを始めたきっかけ】

労働人口の著しい減少が叫ばれる昨今、人材を確保する為には従業員が健やかに、快適に働ける環境作りが大切という当社の考えを基に、5年ほど前より健康づくりに特に力を入れ続けています。

【健康経営①】

健康診断の徹底

健診受診率100%維持に加え、社内規定強化により、血液検査及び心電図検査の対象を全従業員に広げ、本人は勿論、会社側も早期に異常を発見・把握できるしくみに改めました。この健診の結果で一定基準へ達している従業員や産業医の所見によりピックアップされた従業員全員に2次健診の勧奨を行い、対象者の再受診率100%も目指しています。また、健康保険協会保健師による対象者への特定保健指導を通じ、従業員に対し健康を考える機会を提供しています。



健康実務担当者(左)と健診担当者(右)

【健康経営②】

健康の日(毎月1日)の実施

給食業者の協力を得て、量が少なく野菜ばかりのイメージを払拭した、おいしくてお腹も満たされるけど、健康に良い「ヘルシー弁当」を実現しました。

まずはこの一食からでも、食生活について考えてもらえるきっかけになるよう、少ない自己負担で食べられるようにしました。

ほかにも、食堂にある調味料は全て減塩タイプに切り替え、机にはコロナ感染症対策の手作りの仕切りを取り付けました。

また、同日は禁煙デーとし、社内の喫煙所を全て撤去し、総合的に健康を考える1日にしております。



知事褒賞を受賞して

今回は当社が行ってきた様々な活動が結実し、大変名誉ある賞を賜る事ができ、嬉しく思います。他人事になりやすい自分の健康について、会社側から『気付く』きっかけと継続できる仕組みづくりを通じ、従業員みんなで楽しみながら健康を維持し、これからも笑顔で仕事に取り組める環境を作っていきたいと思っております。



代表取締役 山田 伸人

【健康経営③】

健康チェックコーナーの開設

本社工場では定期的に行われている従業員面談で血圧の悩みが多く聞こえてきた為、血圧計を置く場所を設ける健康チェックコーナーを開設しました。目に留まりやすい食堂横に設置し、他にも身長計、体重計、握力測定器、肺機能チェッカー等を設置し、健康にまつわる知識を5つの分野に分けて簡潔に紹介し、健康意識へのきっかけづくりとしています。また、コロナ禍で運動不足の人が多くいる為、「ふじ33プログラム」を導入し、職場で声を掛け合い、楽しみながら更なる健康づくりに取り組んでいます。



【会社概要】

矢崎グループ企業として、県内に6か所の製造拠点を構え、自動車や産業用ロボットに使用される組電線（ワイヤーハーネス）の製造のほか、リサイクル事業を行い循環型社会にも対応し、『地域と共にある企業』として邁進しています。



所在地：富士宮市外神2182

電話：0544-58-5625

設立：1987年3月

常時雇用者数：227人



製造業(精密機械)

スター精密株式会社

【健康宣言】

従業員の健康に配慮し、安全かつ衛生的で働きやすい職場環境の整備に努め、心身の健康をサポートしていきます。

【健康づくりを始めたきっかけ】

2008年特定健診開始時、保健指導対象者は17.1%、喫煙率が23%であり、全社を挙げて健康づくりに取り組むこととなりました。

【健康経営①】

健康づくりセミナーの開催

健康意識を高めるために、健康教室を開催しています。2020年の1月にはヨガ体験レッスンと歯科口腔セミナーを行いました。歯科医に講師をお願いした歯科口腔セミナーでは、健康寿命の延伸のためにも歯のメンテナンスが重要であると教えていただき、参加した従業員から「もっと早く話を聞きたかった」「口腔ケアへの意識が変わった」などの意見が寄せられました。継続した開催により、2013年以降の40歳以上メタボリックシンドロームの該当者および予備群の社内割合は、毎年男性22.8%以下、女性5.6%以下をキープしています。



【健康経営②】

ウォーキングイベントやヨガ教室の開催による運動習慣の促進

運動習慣の定着とコミュニケーション活性化のために年2回春と秋にウォーキングイベントを行っています。日頃話すことがない他事業部の従業員同士の交流の場ともなっています。

また、コロナ禍の緊急事態宣言下での在宅勤務中、昼休みに出来るオンラインヨガを開催しました。デスクワークで凝り固まった体をほぐすことで気分転換にもなり、仕事の効率化にもつながったという意見が多く聞かれました。

その他にも、社内には6つのスポーツサークルがあり、活動費補助も行っています。



知事褒賞を受賞して

この度は、県知事褒賞という大変名誉ある賞を賜り、誠にありがとうございます。

従業員の健康が経営の一番大事な基盤だけに大変うれしく思います。コロナ禍の中でもオンラインイベントなどで健康増進活動が続けてきました。

今後も工夫しながら従業員の健康維持、増進に向けて最善を尽くしていきます。

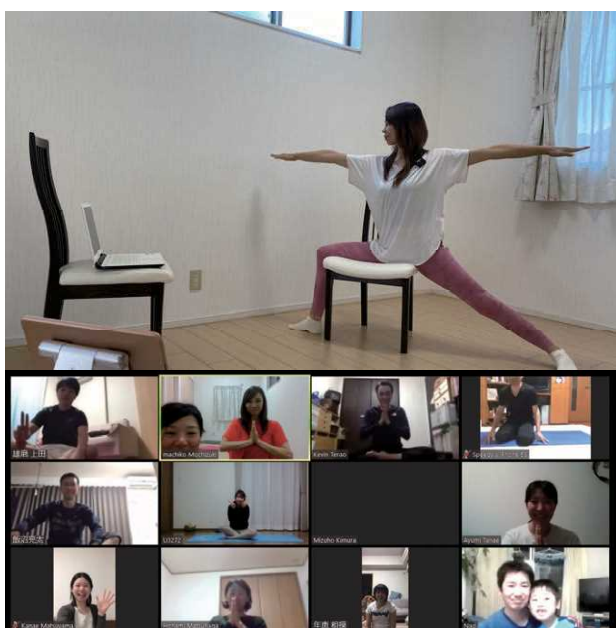


代表取締役社長 佐藤 衛

【健康経営③】

禁煙支援の実施

2012年5月から敷地内全面禁煙とし、毎年定期健康診断後の面談では産業医または看護師から、時にはスモーカーライザーを使い禁煙指導を行っています。敷地内禁煙後の社内アンケートでは、全館禁煙についての反対の社員はわずか4.1%であり喫煙者もスムーズに受け入れてくれました。健保からも卒煙成功者には禁煙補助金があり、7年間で26人が禁煙し、現在の喫煙率は16.0%で、過去7年間で26人が禁煙に成功しました。



【会社概要】

高精度の精密部品加工に適したスイス型自動旋盤において高い市場シェアを誇り、常に成長する分野に身を置き、成長する地域に事業展開するグローバルグループ経営を目指しています。



所在地：静岡市駿河区中吉田20-10

電話：054-263-1111

設立：1950年7月7日

常時雇用者数：約540人



卸売業(食品)

藤和乾物株式会社

【健康宣言】

1日1回1運動

【健康づくりを始めたきっかけ】

社員やその家族が病気になり、離職せざるを得ない現実を目の当たりにした事です。会社として結果的に社員を守れなかった事が一番辛く、社員の健康に対する意識を変えて欲しかった為です。

【健康経営①】

メディシェフの資格を取得し、従業員や取引先への情報提供に活用

社員の食習慣改善と健康提案力向上を目的に『メディシェフ』を受講。講習には医療・栄養・調理に関するエビデンスが多く含まれており、疾患→予防→健康という順に知識の落とし込みができました。また、学校給食で求められている「減塩対策」についても、乾物の旨み成分を活用するなどの知識を習得することができました。受講後、全員が健康に対するモチベーションを向上させることができ、食生活の見直しを始め受講メンバーで社内や家族への情報の発信を積極的に行えました。



【健康経営②】

ふじ33プログラムの実施

「運動」・「食生活」・「社会参加」の3つの分野で生活習慣の改善を目指す『ふじ33プログラム』に取り組みました。体力測定・講義・実技を行いながらグループでの共通目標を設定し、3か月後・1年後・2年後と振り返りを行った点が特に効果的だと感じました。

取り組み後には従業員から「あきらめていた膝の痛みが解消された」「取組がきっかけで以前よりも更にお互いを気遣い、健康に繋がる会話が増えた」といった声や、喫煙率が5%低下するなど目に見える成果が生まれ、社員に良い変化をもたらしました。



知事褒賞を受賞して

この度は静岡県知事褒賞という栄誉ある賞をいただき誠にありがとうございます。健康作りの礎となる『食』を提供する会社として、従業員の健康増進は重要な課題であると認識しており、コロナ禍での健康の重要性は増すばかりです。今後も従業員が心身ともに健康で明るく長く働けるよう、健康づくりに取り組んで参ります。



代表取締役社長 佐藤 豪一郎

【健康経営③】

健康づくりセミナーの開催

従業員へのアンケート結果を基に従業員とその家族を対象とした健康づくりセミナーを実施しています。

『見直そう！食生活』と題し、栄養をテーマに実施したセミナーでは、普段、どれほど塩分を余分に摂り過ぎているかに驚きました。また、食品表示のルール・添加物の種類と使用用途など普段知っているようで知らないことがたくさんあり、正しい知識を学ぶこともできました。「減塩」レシピのお弁当の実食もあり、大変美味しく・楽しみながらの健康セミナーでした。



【会社概要】

農海産乾物を主として外食産業・全国の加工ルート・集団給食ルートへ販売。企業理念である「健やかな未来のために」を念頭に置き、安全・安心を最重要課題としてお客様のあらゆるニーズにお応えすべく製品の多様化に取り組んでいます。



所在地：藤枝市大西町1-1-32

電話：054-635-2002

設立：1977年3月

常時雇用者数：41人



金融業

浜松いわた信用金庫



【健康づくり宣言】

健康維持・増進活動に対する積極的な支援と組織的な健康づくりの推進によって、全ての役職員が個性と能力を十分に発揮できる働きがいのある金庫を目指します。

【健康経営①】

働き方改革の推進

2016年4月 働き方改革推進のために“ライフデザイン部”を創設しました。様々な生産性向上策を実施し、結果として残業時間の削減が図られました。

- ・時間管理の意識向上・定着化
 - ・事務負担軽減を目的としたBPR推進等
- ワークライフバランスの推進により時間への意識が変化し、業務上ではお客様との相談時間の確保、業務外では自己啓発や趣味、家族と過ごす時間が確保されるなどの効果が現れました。

この取り組みにより「体力」「知力」「気力」を充実させ、豊かな人間力向上を図り、役職員が生き生きと働ける職場を目指しています。

【健康経営②】

メンタルヘルス相談室を創設し、従業員のメンタルヘルス向上に取り組む

2007年4月に“メンタルヘルス相談室”を創設しました。

支店長経験者2人が相談員として常駐し、毎年全職員と面接を行っています。メンタル不調者に対しては、状況に合わせて上司へのアプローチ、産業医や提携病院への橋渡しを行っています。メンタルヘルス相談室は「職員の不安を解消し、心の健康を保つような相談と支援をしていく場」となっています。また、毎年全従業員に実施しているストレスチェックの他、セルフヘルス研修やラインケア研修を実施し、メンタルヘルスの向上に取り組んでいます。



2020
健康経営優良法人
Health and productivity



知事褒賞を受賞して

このたびは、県知事褒賞を賜り誠にありがとうございます。地域社会の持続的な繁栄・成長を支えるためには、働く役職員の健康は欠かせないものであると考え、健康経営への取り組みは重要な経営課題の一つと捉えております。コロナ禍の中、地域社会への貢献やお客様の本業支援を行う「伴走型支援」を進めるためにも、引き続き、役職員およびその家族の健康維持・増進活動に対する積極的な支援と組織的な健康づくりの推進に努める所存です。



理事長 御室 健一郎

【健康経営③】

敷地内全面禁煙および 禁煙外来費用の一部補助実施

2020年10月より受動喫煙防止策の一環として、「敷地内の全面禁煙」を実施しました。

当金庫役職員における喫煙率20.5%（2019年度）を2022年度までに15%以下にすることを目標として、禁煙外来受診の勧奨を行うとともに、治療費の一部補助を実施しています。



【会社概要】

浜松いわた信用金庫は、静岡県西部地域に88店舗を展開する信用金庫です。私たちは金融という枠組みにとらわれず、地域の皆様の「いま」と「みらい」に寄り添い続け、持続可能な社会の実現を目指し、質の高い多様なサービスを提供してまいります。



所在地：浜松市中区元城町114-8

電話：053-450-3250

設立：1950年4月10日

役職員数：1,828人（非正職員含む）



製造業(輸送用機器)

YAMAHA

ヤマハ発動機株式会社

【健康宣言】

お客様に感動を届けるため、イキイキ・ワクワクできる心身の健康を確保する

【健康づくりを始めたきっかけ】

社員の健康を企業の成長に欠かせない経営課題と捉え、2020年に社長から「ヤマハ発動機健康宣言」を發布。会社・社員が一体となった健康づくりに取り組んでいます。

【健康経営①】

糖尿病予防キャンペーンの実施

近年、社員全体の運動習慣や肥満、血糖値等の数値が悪化傾向にあることを喫緊の課題ととらえ、中長期的な視点で社員のヘルスリテラシー向上、生活習慣改善に向けた取組みを展開しています。2020年に開始した「糖尿病予防キャンペーン」では、健診結果をもとに糖尿病予備群の全員に看護職が面談を実施。きめ細かな指導を粘り強く行っていくことで、生活習慣病ハイリスク者の減少を目指しています。



【健康経営②】

健診結果を踏まえた栄養管理

社員食堂 ヘルシーメニュー提供

社員食堂の運営にあたり、その役割を社員の福利厚生と“食を通じた社員の生活習慣病予防・健康増進”と位置付け、健康診断結果を踏まえた栄養管理のもと食事提供を行っています。毎日のメニュー(6種類)の中には、生活習慣病予防を意識した「健康サポートランチ」を用意しています。PFCバランスを整え、1食で野菜150g以上と雑穀米の使用により食物繊維7g程度を摂取することができます。また、定期的にイベントメニューを提供し、社員の健康意識の啓発も行っています。



知事褒賞を受賞して

この度は、大変名誉ある賞を賜りありがとうございます。当社の企業目的“感動創造企業”の実現には、社員自身がイキイキ・ワクワクした毎日を送ることが何より大切で、健康はその土台です。これからも心躍る感動を世界の皆様にお届けするため、社員と共に心身の健康づくりに励んでまいります。



人事部長 河合 多真美

【健康経営③】

心身のリフレッシュを図る

始業前のストレッチ運動の実施

社員の悩みとして多い腰痛と肩こりの予防を目的として、当社オリジナルの「Revストレッチ」を開発、社内放送を活用し毎朝始業前に実施しています。「毎日のリフレッシュやストレス緩和に効果を実感！！」といった社員の声を得られており、朝から体を動かし気分を盛り上げることで抑うつやストレス軽減にもつながります。外国語版(英語、スペイン語、中国語、ベトナム語)の映像も作成し、当社の世界18拠点に導入しているほか、ホームページにおいて一般にも公開しています。



【会社概要】

ヤマハ発動機は、「感動創造企業」を企業目的に、社会や環境との調和を図りながら、製品やサービスを通じて世界の人々の喜びや驚き、高揚感、そして豊かさや幸福感の実現を目指しています。



所在地: 磐田市新貝2500

電話: 0538-32-1115

設立: 1955年7月

常時雇用者数: 10,567人



製造業（輸送用機器開発）

YAMAHA

ヤマハモーターエンジニアリング株式会社

【健康経営宣言】

社員一人ひとりの心身の健康が社員の成長と会社発展の礎であり、“仕事と生活の調和”の実現にもつながると考えています。会社は社員の健康増進に積極的に取り組み、安心して健康に働き続ける環境作りに努めることを宣言します。

【健康づくりを始めたきっかけ】

65歳雇用が定着し、今後も従業員の高年齢層が増加することから、会社として従業員の健康増進に積極的に取り組む必要性が高まってきた。

【健康経営①】

病気の早期発見と早期予防

定期健康診断では、特定健診を全社員に実施すると共に、有所見者（要受診、要精密）全員に対して産業医と保健師による保健指導を行っています。これらの取組の結果、2019年の有所見率は2014年比で15.6ポイント低下しています。また、定期健康診断のオプション検査として希望者に甲状腺・前立腺のがん検査とピロリ菌検査、事業所内での婦人科検診も行っています。利用者は増えており従業員の健康意識も着実に高まっています。

【健康経営②】

感染予防対策の徹底

新型コロナウイルスの感染が国内外で広まる中で、企業には感染症の予防対策が求められています。当社では、建物入口に非接触体温計と建物・職場・食堂入口に消毒液を設置、全従業員にマスク配布、3密回避の勤務（フレックスタイム、在宅勤務、WEB会議）の促進、飛沫防止として個人席・会議室・食堂などにアクリルボード設置、執務エリアに加湿器を設置しています。また、2020年よりインフルエンザ予防接種の費用補助と、事業所内での予防接種も行っています。



知事褒賞を受賞して

創立40周年の節目に名誉ある知事褒賞を賜り、誠に有難うございました。当社は“人が財産”を念頭に、お客様、社員とご家族、地域の皆様の豊かな生活実現を目指してきました。今後も”Engineering Smiles 技術で人を笑顔に。”をビジョンに掲げ、健康経営を推進して参ります。



代表取締役社長 石原 靖朗

【健康経営③】

禁煙対策・支援と受動喫煙対策

2010年に禁煙と受動喫煙対策の取組を開始。段階的に事業所内のたばこ自販機撤去、禁煙ポスター掲示、建物内の喫煙所削減、喫煙所の屋外移設、喫煙時間の制限、禁煙外来費用を会社が負担する「禁煙支援制度」の新設、2020年に事業所敷地内の喫煙所完全撤去まで進めてきました。その結果、受動喫煙対策が完了し、喫煙率についても2009年30.3% →2019年19.5%にまで低下しています。



【会社概要】

当社は、量産用の製造部門を持たない、技術開発分野に特化したヤマハ発動機グループ企業です。グループ全体のものづくりを進化させる「技術、製品開発領域で価値を創造すること」を目的としています。



所在地：磐田市西貝塚3622-8

電話：0538-37-8314

設立：1980年7月

常時雇用者数：418人

【健康宣言】

元気な挨拶で明るい職場づくり

【健康づくりを始めたきっかけ】

「健康経営」ということばを目にする機会が増え、社員が心身ともに健康に働くということが重要なテーマであることを認識しまして、社員の健康づくりへの取組を強化してまいりました。

【健康経営①】

保健師面談の導入

社内の健康相談窓口として、3年前から保健師面談の取り組みを行っています。取り組み前は、健診有所見者への専門的な支援が行き届かないこともありましたが、専門職である保健師の面談を導入したことにより、健診有所見者にリスクや改善方法を丁寧に説明できるようになり、社員の健康意識が向上し、大きな病気になる前に対処できたり、全体の有所見者の削減につながりました。今年度はコロナ対策によりオンライン面談を開始し、安全に取り組みを継続しています。



従来の面談



コロナ対策により
オンライン面談開始

【健康経営②】

**社員と家族が参加する
ウォーキングイベントを開催**

健康づくりの一環として、ウォーキングイベントを毎年開催しています。浜松フルーツパーク、浜松フラワーパーク、浜松市動物園など毎回場所を変えて実施しています。例年ご家族、小さいお子さんも参加されており、広い敷地を安全にウォーキングして心と体をリフレッシュしています。また、浜松シティマラソンへのエントリーをサポートしており、脚力に自信のある社員とご家族が参加しています。「ローム浜松」のランニングウェアを着て、お子さんと仲良く走る姿がとても印象的です。



知事褒賞を受賞して

この度は知事褒賞という大変名誉な賞を賜り、誠に有難うございます。弊社では「健康経営」として、社員が健康で生き生きと働ける職場環境作りを目指して取り組んでまいりました。コロナ禍で様々な制約がある中、今後も社員の安全と健康を考えた活動を推進してまいります。



代表取締役社長 江口 英和

【健康経営③】

健康的な食事の情報提供や ダイエットサポートの実施

生活習慣病予防のため、健康的な食事についての情報提供を行っています。食堂の卓上に食べ物や食べ方に関するミニポスターを作成して掲示したり、健診結果を分析し社内の傾向や改善のポイントを安全衛生委員会を通じて全社員に情報提供しています。また、あらたな取組として社内ダイエットサポート企画を開始し、ダイエット希望者に食事指導を始めました。効果の早い人では、4か月で約7kg減らすことができ、参加者からは好評をいただいています。



【会社概要】

開発・設計・製造を一貫して行う「垂直統合」システムで、「世界最高の品質」を世界中に発信・供給し続ける半導体メーカー「ローム」。私たち「ローム浜松」は、そのグループの一員として1999年に設立され、LSIとLEDの開発・製造に特化した事業を担っています。



所在地：浜松市南区三和町10

電話：053-468-1000

設立：1999年

常時雇用者数：217人

過去の受賞者

(50音順)

平成24年度

株式会社フジヤマ(浜松市)
静岡ガス株式会社(静岡市)
社会福祉法人聖隷事業団保健事業部(浜松市)
東芝キャリア株式会社 富士事業所(富士市)
浜名湖電装株式会社(湖西市)

平成25年度

株式会社鈴木組(浜松市)
木内建設株式会社(静岡市)
静新SBSグループ(静岡市)
はごろもフーズ株式会社(静岡市)
富士フィルム株式会社 富士宮工場(富士宮市)

平成26年度

大塚製薬株式会社 静岡支店(静岡市)
株式会社生駒化学工業 東海工場(菊川市)
キャノン株式会社 富士裾野リサーチパーク(裾野市)
スルガ銀行株式会社(沼津市)
テルモ株式会社 愛鷹工場(富士宮市)
東海埠頭株式会社(静岡市)
東レ株式会社 三島工場(三島市)
富士熱錬工業株式会社(富士市)

平成27年度

株式会社トライ・カンパニー(沼津市)
五光建設株式会社(静岡市)
静岡市農業協同組合(静岡市)
ティ・エス テック株式会社 浜松工場(浜松市)
東名電機株式会社(富士市)
富士木材株式会社(富士市)
村松電機株式会社(富士市)
ユニバーサル製缶株式会社 富士小山工場(小山町)

平成28年度

大井川農業協同組合(藤枝市)
オブリック株式会社(富士宮市)
株式会社サカエ(浜松市)
株式会社静鉄ストア(静岡市)
中日本ハイウェイ・パトロール東京株式会社 新東名富士基地(富士市)

平成29年度

アサヒ飲料株式会社 富士山工場(富士宮市)
旭テック株式会社(菊川市)
株式会社アトランス(浜松市)
株式会社ソフトウェアプロダクツ(浜松市)
株式会社デイス(静岡市)
株式会社TOKAIマネジメントサービス(静岡市)
株式会社ブリヂストン 磐田工場(磐田市)
株式会社マルハナ(浜松市)
株式会社ロジック(浜松市)
ベックマン・コールター 三島事業場(長泉町)
有限会社栗田産業(富士市)

平成30年度

株式会社杏林堂薬局(浜松市)
株式会社村松商店(浜松市)
静岡マルイ・モディ(静岡市)
静甲株式会社(静岡市)
東海部品工業株式会社(沼津市)
東京海上日動火災保険株式会社 静岡支店(静岡市)
マックスバリュ東海株式会社(長泉町)
レワード株式会社(浜松市)

令和元年度

株式会社イワタ輸送センター(袋井市)
株式会社七栄(裾野市)
株式会社富士クリーンサービス(富士市)
中央静岡ヤクルト販売株式会社(静岡市)
中北薬品株式会社 静岡支店(静岡市)
松葉倉庫株式会社(藤枝市)

令和2年度
健康づくり活動に関する知事褒賞
取組事例集
〔初版 令和3年3月〕
発行：静岡県健康福祉部健康増進課
〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9-6
TEL:054-221-2433
FAX:054-221-2142
